

今こそ減らせ食ロス！ 2050年に向けた第一歩！

～「エコな企業へ」実践を目指す3daysセミナー Part3～

開催日：11月14日(土)～16日(月)

ー昨年、昨年に実施したセミナーの第3弾！集大成となる最終年です！

◇今年度は食品ロス・食品廃棄物をテーマに展示イベントやリモートによる講演を開催します。

◇ごみを減らし、資源の地域循環の流れを作るにはどうしていけばいいのかを一緒に考えてみませんか。

◇ゼロエミッション東京戦略では、2050年までに食品ロス発生量実質ゼロを目指しています。

展示イベント

通りすがりにご覧ください！

11/14(土)

～11/16(月)

時間

11/14(土) 12:00～15:30

11/15(日)・16(月) 10:00～15:30

場所

三軒茶屋駅地下通路 三茶パティオ

(東急田園都市線・世田谷線 「三軒茶屋駅」徒歩1分)

【PRコーナー】・行政・事業者の取り組みを紹介します。
・ドギーバッグなどのグッズを紹介します。



【アンケートボード】事業者から消費者への質問を掲示。選択肢欄にシールを貼付する形式でアンケートを実施します。16日(月)のセミナー内で、アンケート結果についてディスカッションする予定です。

【フードライブコーナー】家庭で余っている食品などをお持ちください。⇒[詳細は裏面へ](#)

セミナー

11/16(月)

時間 13:30～16:00

方法 オンライン形式で実施



テーマ：「食品ロス・食品廃棄物を減らすために地域で事業者ができること」

講師：ワタミ株式会社 SDGs推進本部長，中部SDGs推進センター副代表

百瀬 則子 氏

◆特別講演：「食品リサイクルの意義と食品廃棄物の資源化」

講師：東京農業大学名誉教授，一般社団法人 日本有機資源協会 会長

牛久保 明邦 氏

◆リレートーク：「私たちにできること」

入江 満美 氏（東京農業大学国際食料情報学部准教授）、ほか事業者数名



申込方法・担当

件名を「セミナー申込み」とし、FAXで、①参加者氏名（事業者の場合は、事業者名・部署・役職名も記入）②住所、③電話・FAX番号、④メールアドレスを明記の上、**10月30日(金)必着**で、清掃・リサイクル部事業課までお申し込みください。後日メールでオンライン会議の案内をお送りいたします。

FAX：03-6304-3341

事業者の方の協賛もお願いします！

世田谷区清掃・リサイクル部事業課指導許可担当 電話：03-6304-3263

<協賛> ※五十音順

- サミット株式会社
- 株式会社三恵
- ニチバン株式会社
- ワタミ株式会社

<協力> ※五十音順

- 三軒茶屋銀座商店街振興組合
- 世田谷区消費生活センター
-
-

フードドライブとは？

フードドライブとは、家庭で余っている食品等を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設等に提供するボランティア活動です。食品ロスの削減や食品等の有効利用のため、**お中元やお歳暮でもらったけれど食べられない…、自分の口には合わないけれどももったいなくて捨てられない…、特売セールで買い過ぎて結局余ってしまった…、そんな食品等がありましたら、是非ご提供ください。**

ご提供いただきたい食品等は、原則として以下の条件を全て満たすものが対象となります。

- 未開封であること（包装や外装が破損していないこと）
- 賞味期限（要明記。塩や砂糖は除く）まで2か月以上あること
- 冷凍・冷蔵でないこと



持続可能な開発目標（SDGs）

- 2015年に国連で採択された2030年までに国際社会が取り組むべき17のゴールと169のターゲットからなる。
- 食品廃棄物についていえば、ゴール12の「つくる責任・つかう責任」で廃棄を半減させ、食品ロスを減少させることが掲げられていますが、これは同時にゴール2の「飢餓をゼロに」や17の「パートナーシップで目標を達成しよう」などにも関わっています。



<展示イベント会場へのアクセス>



- 所在地
世田谷区太子堂4-22
三茶パティオ
- アクセス
東急田園都市線
三軒茶屋駅下車 徒歩1分
東急世田谷線
三軒茶屋駅下車 徒歩1分

- 駐車場のご利用について
周辺にはコインパーキングもありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

<講師略歴>

- 百瀬 則子氏（ワタミ（株）SDGs推進本部長・（一社）中部SDGs推進センター副代表）
1980年にユニー株式会社入社。2003年に環境部長、2014年に執行役員、2017年にCSR部・コンプライアンス部長に就任、2018年にはユニー（株）顧問、2019年より現職。エコ・ファースト企業の推進役としてレジ袋削減や食品リサイクルの推進に取り組み、2007年に全国で初めて再生利用事業計画が国に認定され、食品リサイクルループ認定第1号となりました。環境省等の審議会委員やアドバイザーを務め、SDGsを通して地域循環共生社会の構築を目指しています。
- 牛久保 明邦氏（東京農業大学名誉教授・（一社）日本有機資源協会会長、など）
平成10年に東京農業大学国際食料学部教授に就任、平成23年に同大学を退職後、東京情報大学学長に就任し平成27年に退任。専門は土壌学、環境科学、食品リサイクルで、特に食品リサイクルに関しては農林水産省の「食品ロスの削減に向けた検討会」ほか環境省の小委員会などの委員を歴任し、食品リサイクル法に精通され、「食品リサイクル成功の秘訣」（共著）日報出版（株）などの著作も多数あります。